

KAITACHO SHIKISAI MAP
海田町
四季彩マップ

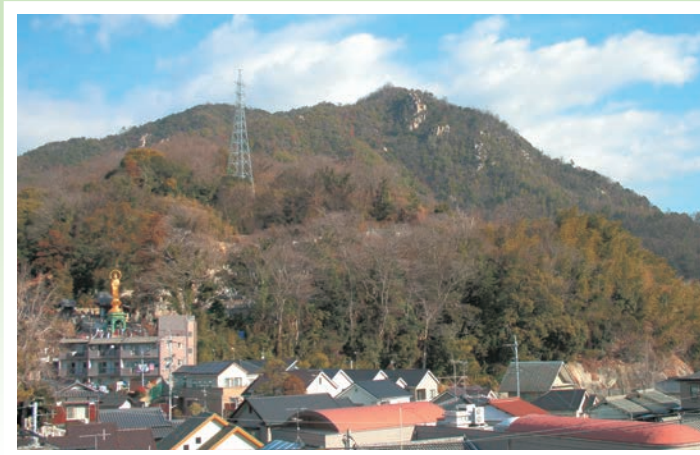
緑あふれる山、清らかな川。いにしへの面影を残す貴重な歴史遺産の数々。古くは山陽道の宿場町として栄え、戦後も交通の要衝として発展した海田町は自然と文化と産業が豊かに溶け合った、温もりと活気のあふれる町です。さあ探検気分で行きましょう！



A 旧千葉家住宅
書院 県重要文化財・庭園 県名勝
江戸時代、千葉家は幕府・広島藩の文書、荷物を運ぶ「天下送り」宿送り役をつとめました。江戸時代中期の建築物。春は桜・ツツジ、秋は紅葉と庭園も見応えがあります。



B 西国街道(旧山陽道)
「旧千葉家住宅」や江戸時代後期の商家建築「三宅家住宅(国登録有形文化財)」など、宿場町として栄えた往時の面影を残す通りです。



C 日浦山
3種の登山ルートが整備され、さまざまな木や草花が目を楽しませてくれます。また、晴天時は「頂上」から遠く宮島までも望むことができます。家族みんなで登山できる海田のシンボルです。

▲ごま鯛みそ(海田さつまの素)
海田町に江戸時代から伝わる伝統料理「海田さつま」。海田高校家政科が、「次世代に残したい」「より身近に、気軽に食べてもらいたい」との思いを込め、さつまの会の協力のもと、精ますやみそと共同で商品化しました。

▲海田町ふるさと特産品協議会で考案された「ひまわり煎餅」をはじめとしたお土産詰め合わせセット。

▲海田町の特産品「ひまわり畑のフロンタン 広島産のレモンの恵み」。町制施行60周年記念特産品コンテストで最優秀賞を受賞した海田高校家政科考案レシピを商品化しました。

D 海田観音免のクスノキ 県天然記念物
樹高は約30メートル以上あり、樹齢は400年以上といわれています。付近には観音免古墳群もある歴史スポットです。近接するふるさと館では、海田町の歴史と名譽町民や町民栄誉賞を受賞された元カープ選手の活躍を紹介しています。



E 熊野神社
万寿三年(1026年)に紀州熊野大社より勧請されたと伝えられます。江戸時代には「新宮」と呼ばれた宿場町海田市の氏神として信仰を集めました。かつては秋祭りに「頂戴」とよばれる山車が町を回り歩き、神社に奉納されていました。また、現在の拝殿は文政八年(1825年)の建築で、県下最大級拝殿の一つです。



F 春日神社
貞応二年(1223年)に、大和国(奈良県)春日大社より勧請されたと伝えられます。熊野神社と同じく秋祭りに「頂戴」が街道を練り歩いていました。本体高さ3.5メートル 幅1.8メートル 長さ14メートル 重さ約1.2トン。

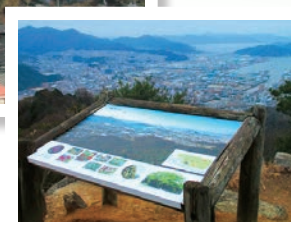


H 瀬野川ウォーキングコース
海田の国道2号沿いをゆっくりと流れ、海田湾に注ぐ瀬野川は、気軽に水と親しめる人気スポットです。河川敷では、年間を通じて多くの人がウォーキングを楽しみ、春には満開の桜並木が楽しめます。休日ともなると多くの人が憩いを求めて訪れ、夏には水遊びを楽しむ家族の姿も。また、川の中に目を向ければ、多くの水生生物や野鳥を観察することもできます。

I 海田総合公園
大型遊具がいっぱい！ 野球場やテニスコートも完備し、ドッグランもあり、大人から子どもまで楽しめる総合公園です。あずまや周辺からの夕日はため息ものの美しさ。



C 日浦山
3種の登山ルートが整備され、さまざまな木や草花が目を楽しませてくれます。また、晴天時は「頂上」から遠く宮島までも望むことができます。家族みんなで登山できる海田のシンボルです。



▲頂上からの景色



J ひまわりプラザ
ホールや学習室、図書室などを備えた盛りだくさんの施設。また、「かいた版ネウボラ」の拠点として、ネウボラ相談員が常駐し、妊娠期から子育て期の相談や各種教室を行っています。2階の「つどいの広場」は、親子が楽しく遊べる場所です。

K 福祉センター
町民の皆さんの福祉保健の向上を図る施設として幅広くご利用いただける施設です。3階には、「健康増進プール」と「筋力向上トレーニングルーム」があり、町民の皆さんの健康づくりにも利用していただけます。



▲健康増進プール



▲筋力向上トレーニングルーム

L 陸上自衛隊海田市駐屯地 第13旅団
毎年8月上旬頃に夏祭りが盛大に行われます。なかでも恒例となった花火の打ち上げは人気です。



▲海田町役場



M シルバープラザ
高齢者福祉の増進と高齢者の労働能力の活用を図るための施設です。



▲海田町役場



▲織田幹雄記念館



▲JR海田市駅



▲JR海田市駅南口



N ひまわり大橋
歩行者・自転車専用橋。波をモチーフにしたカリオンが心地よい音色で響きます。